JAC北九だより

Ｎｏ.８７（2019年 第1号）

公益社団法人　日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発 行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
支部長　関口 興洋
事務局: 行橋市東泉3-18-10
竹本 正幸方
TEL-FAX 自宅　0930-28-9611
携帯　090-6739-9251
編集人:　事務局(森 義雄)
印 刷 : 山口県山口市水の上町2-25
内 藤 製 本 所

関口支部長

新年のごあいさつ

２０１９年は、新元号とともに支部の増強を

北九州支部長　　関口 興洋

あけましておめでとうございます。

皆様には清々しい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

今年は平成の御世が終わり、新たな元号の下で日本国がスタートする最初の年であります。

北九州支部も今年は創立19年目を迎えます。

2019年の新春を迎えるにあたり、年頭のごあいさつを申し上げます。

日本山岳会（ＪＡＣ）にとって最大の課題は会員の高齢化にともなう会員数の減少と新規会員の確保が均衡しないため、会の財政が危機的な状況に陥ってきたことです。

例えば、平成29年度の実績は新入会員数159人、年度末の永年会員数399人となっています。平成30年度の収支バランスは若干黒字に転じたとのことですが、長期的な見通しは明るくありません。当支部の現状は通常会員が71人前後で推移しております。

当面の目標としては80人を目指して、今年も引き続き新しい会員の獲得にご尽力いただきたくお願い申し上げます。

そのためには若手の多い支部友からの転籍が最短の道であります。ＪＡＣに加入すると本部や全国の各支部が主催する多彩な行事へ参加でき、山と岳人の世界が大きく拡がります。必ずや入会してよかったとの思いにかられることでしょう。

また、本部では通常会員・準会員の新規加入を促進するため、各地の著名な山小屋の宿泊料金割引きなどの会員サービスの提供を進めています。

支部友の皆様、新年度からの通常会員・準会員への入会を是非ご検討いただきたくお願いいたします。

2019年度の事業計画につきましては、次の事業を中心に推進してゆきたいと思いますので皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

(公益事業)

（１）英彦山のバイオ・トイレの保守・維持活動を地元山岳団体と協力しながら行う。

（２）5月末の「英彦山山開き」に備えた事前の清掃活動を地元の添田町、地元山岳団体と連携しながら実施する。

（３）例年実施している「さいわい幼稚園」の遠足登山（風師山、矢筈山）のサポート事業を継続して行う。

（４）8月11日の「山の日」に風師山をめぐる親子登山を北九州市門司区役所、毎日新聞社の後援を得ながら継続したい。

（５）昨年、福岡家裁小倉支部よりの要請で初めて非行青少年の更正活動の一環として門司区の風師山へ遠足登山を行った。今年も要請があれば実施したい。

(共益事業)

（１）月例山行の充実化と安全登山の徹底。

（２）園川顧問にご尽力いただいている「山岳専科」(年間４回)と「指導員研修」(年間４回)を継続して行う。

（３）昨年10月に実施した「第２回槇有恒碑前祭」の展示パネルが本部の要請で年次晩餐会の会場でも披露された。皇太子殿下も参観され好評を博したとのこと。今回の展示と伊藤顧問のビデオ(ナレーション付き)上映により認知度も上がりつつある。今年も引き続き実施し多数の会員の参加を願っています。

（４）ポレポレ山行(中高年向きの日帰り登山が主体)の実施。

（５）版画教室(同好会)月２回水曜日の午後1時～3時までルームにて開催。講師：伊藤顧問

（６）創立20周年(2020年)記念事業の実行プランの　策定と推進。

今年も安全登山とクラブライフを楽しみましょう。

10月21日(日)　第2回槇有恒碑前祭の報告

快晴の下　全国からご来賓！
午餐会では、札幌在住芳賀氏の記念講演

13643　関口　興洋

風頭山頂の槇有恒碑の前で芳賀氏ご夫妻を囲んでの記念写真　（写真提供：伊藤久次郎）

当日は快晴の下、北九州市門司区の風師山(風頭)に設置されている槇有恒記念碑と略歴碑の前で碑前祭を行った。昨年の第1回碑前祭は台風接近のため風頭での記念行事は中止となり、山麓で午餐会のみ開催した。したがって、今年が実質的に最初の碑前祭となった。

槇さんの記念碑がなぜ風頭に設置されたのか経緯をご紹介したい。1956年マナスル初登頂に成功した第三次マナスル登山隊の隊長を務めた槇有恒が、初登頂の報告をするため1958年九州の各地を廻り、10月旧門司市にあった毎日新聞西部本社へ支援をいただいたお礼のあいさつに立ち寄られた。その時、風師山早朝登山会の堤甚五郎会長(元日本山岳会会員）が槇さんを関門海峡の素晴らしい展望台である風頭にご案内した。当時の感慨を槇さんが後にしたためた詩文を基に、堤さんが記念碑を設置した。

「この頂に立つ　　幸福の輝きは
これをとらふる　　術を知りし
山人たちの　　力によるものなり
昭和三十二年十月　　槇　有恒　」

今回の碑前祭には、森武昭前会長(神奈川支部)、芳賀孝郎永年会員ご夫妻(北海道支部)、石原國利東海支部名誉会員、高木荘輔福岡支部長、佐藤浩幸永年会員(東九州支部)ほか北九州支部の会員を含め33人が出席。森前会長の来賓ごあいさつ、地元の「さいわい幼稚園」の園児二人による献花、池田智彦会員の指揮で「雪山讃歌」の合唱など一連の記念行事が終わったあと、山麓の「門司倶楽部」に席を移し午餐会を開催した。

午餐会では北九州市門司区の小石区長(関口代読)、石原東海支部名誉会員、高木福岡支部長より祝辞を賜り、伊藤前北九州支部長の乾杯の音頭で開宴した。

午餐会終了後、札幌から遠路はるばる駆けつけて頂いた芳賀さんの記念講演を拝聴した。

登山史研究家の布川欣一氏が「芳賀氏は、古き佳き時代の岳人系譜に直接連なる、おそらく最後尾の存在ではなかろうか。それ故にこそ、その証言は貴重で歴史的価値は高い。」と述べられている如く、私どもが謦咳に接することができなかった日本山岳会の槇さんをはじめ大先輩の方々のプロフィールとエピソードなど貴重な興味あふれるお話を数々ご披露していただき、たいへん有意義な講演会(90分)でした。深謝申し上げます。

（注）上記の記念碑の日付が昭和三十二年十月となっているが、毎日新聞社に確かめたところ、昭和三十三年十月二十九日付の同紙で「槇　有恒さん（六十四）が二十八日朝、門司山岳会員の人たちと風師山に登った。・・・」との記事が残されており、事実は昭和三十三年十月と判明した。

参加者

来賓：森武昭前会長、芳賀孝郎永年会員ご夫妻、石原國利東海支部名誉会員、高木荘輔福岡支部長、佐藤浩幸永年会員(東九州支部)

支部会員：(29人)園川陽造、伊藤久次郎、関口興洋、日向祥剛、井上祐、磯野文雄、高畠拓生、藤田傳、原広美、板倉健一、井上禮子、馬場基介、丹下洽、大木康子、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、池田智彦、縄田正芳、縄手修、歳弘逸郎、塚本久嘉、町元里香、田中貴大、花田拓二、田中清貴、立石シマ子、宇都宮美智子

他山岳会：菱田哲郎、柳原武志　藤本栄之助(京都大学学士山岳会)

12月1日(土)～2日(日)　年次晩餐会に初めて出席して

16291　花田　拓二

晩餐会壇上で支部参加者の記念写真(写真提供：伊藤久次郎)

日本山岳会に入会してちょうど1年、何事も初めての参加で、新人として年次晩餐会に出席する。

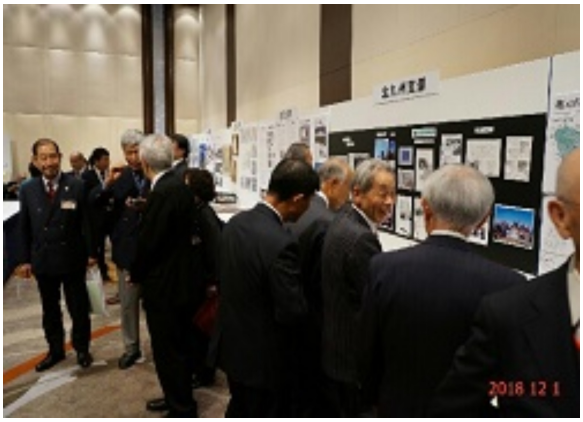
平成30年の今年は平成最後の会となる。皇太子殿下は講演会にご出席で晩餐会にはご出席なさらないので残念。受付を済ませ会場に足を入れる。同行の先輩方のお話では、今年は講演会の会場が変わりこじんまりしている。展示会場に入ると、各支部のPRコーナーが趣向を凝らし設置されている。わが北九州支部は関口支部長はじめ、役員の方々が朝から詰められ、槇有恒先達の碑前祭のビデオ放映やゆかりの資料、講演いただいた北海道支部の芳賀孝郎氏の貴重な資料展示など、コーナーに配置し、会場を盛り上げている。中央部分には山関連の古書が置かれ、オークション用の記入用紙が挟まれていて、希望者は自由に参加できるようになっている。何十冊も希望している会員の方もいて賑わう。

会長あいさつ、鏡開きなどで始まる。新人紹介などもある。一般の山の会とは異なり、この席で業績を挙げた秩父宮記念山岳賞の表彰が行われた。山行だけでなく研究などで顕著な活動に対して会員に贈られる。会員の質、層の厚さを感じる。一連の儀式が終わり、いよいよ晩餐会の開会である。乾杯の音頭は60年前チョゴリザの登頂者となった平井一正永年会員が行った。テーブル毎に円滑な懇親が深められるようテーブルマスターが配置されている。そして、司会者から料理を食べ終わるまでは、席を立ってうろうろしないよう繰り返しアナウンスされる。

食事後は賑やかに、各支部ごとに紹介され、私たちは、九州は一つの合言葉で元気よく立ち上がり手を振る。和気あいあいのうち閉会となる。閉会後、支部参加者が登壇し、記念写真を撮ってもらう。

参加者：11人

会員：園川陽造、関口興洋、伊藤久次郎、日向祥剛、山田武史、丹下洽、丹下香代子、竹本正幸、縄田正芳、縄手修、花田拓二



晩餐会会場内の北九州支部「槇有恒記念碑コーナー」
（写真提供：伊藤久次郎）

第20回定時総会のおしらせ

●第20回通常総会の開催

月日：2019年4月21日(日)

※詳細については、後日おしらせします

英彦山清掃登山のおしらせ

多くの会員の皆様のご参加をお願いします！！

●英彦山清掃登山

月日：2019年5月12日(日)

※詳細については、後日おしらせします

10月27日(土)～28日(日)
広島支部との交流会

宇佐神宮参拝前の記念写真（写真提供：丹下洽）

広島支部と深まった絆～2018秋

15834 小林 英世

不幸にも広島支部のアクシデントがあって、休眠状態を経て今年交流会を持つことができた。どんなイベントが広島支部を元気づけることになるだろうかと深く考えた。

塚本山行委員長の発案で、国東半島峯入ロングトレイルに挑戦することにした。といっても、高齢者の多い会、３段階のコースを設けることにした。

今年は奇しくも、国東半島の六郷満山開山1300年に当たるという情報を得て勢いが増した。

国東半島は、中央から離れているせいかあまり知られていないが魅力的なエリアである。

全員が泊まれるような宿泊施設を探すことから始まった。これも、塚本委員長の紹介で横岳荘のログハウスを予約した。

1日目　晴れ

27日は、広島から来てもらうのに懇親会からでは芸がないので、丹下役員にお願いして、午後１時から宇佐神宮等の観光案内をしていただくことにした。広島の全員とわが会からは関口支部長、内藤正美会員、馬場基介会員、丹下洽会員、丹下香代子会員」が参加した。ガイドも依頼し、楽しまれたようである。

世話役は、午後１時30分に横岳荘に集まり宴会の準備にかかった。机を並べ、鍋、サラダ、サンマの炭火焼きなどの用意をしていると、宇佐神宮の観光を終え、ほかへは行かずこちらに向かっているとの情報、予定よりずいぶん早めの到着で慌てた。

しかし、広島のメンバーも慣れたもので、用意を手伝ってくれたり旧交を温めてもらっていると開始時間が来た。懇親会が始まってしまえば仲間内は弾むものである。宴会は盛り上がり、あっという間に就寝時間午後９時になり、布団を隙間なく敷いて、先に寝る者、コップを片手に日本シリーズの広島を応援して引き分けを見届けて就寝する者に分かれた。

2日目　晴れ

28日朝は予定通り、鍋の残りにうどんを仕込んで全員で合掌した。食後、室内の片付けをして、全員での記念写真を撮る。

横岳荘での集合写真（写真提供：榊俊一）

２日目はＡ、Ｂ、Ｃの３コースに分かれての登山。

◎Ａコース「田原山（鋸山）」（542㍍）

16186　三宅　明子

●コースタイム：4時間50分
鋸山登山口(8:45)→雫石(9:20)→大観峰(9:45/9:55)→八方岳(10:20)→股覗き岩(10:40/10:45)→無　名岩(11:20)→分岐(11:40)→熊野磨崖仏(12:10/12　:30)→分岐(13:00)→鋸山登山口(13:35)

摩崖仏の前で写真Aコースの皆さん(写真提供:榊俊一)

登山口への近道は、先日の豪雨による道路崩壊で通行止めなので、迂回して登山口着。

大観峰は急登なので、ゆっくり歩を進めた。途中、雫石など見所もあったので、みんなでわいわい話しながら大観峰へ。しばらく眺めを堪能したあと、今回のメイン岩尾根へ。ストックをたたみ、慎重に進んだ。途中、太陽石、衝立石などを眺め、遠くは由布岳も望むことができた。少し始まっている紅葉も楽しみながらあっという間に磨崖仏との分岐へ。

広島支部の方々に植生の話や動物の糞を見てどのような動物がいるか等の話をお聞きし、とても勉強になった。分岐からしばらく行くと、長い下りを経て熊野磨崖仏に到着。

みんなでテーブルを囲み、美味しい弁当に舌鼓をうちながら、山談義に花が咲いた。最後は全員で磨崖仏の下で記念写真を撮り、そのまま磨崖仏の駐車場へ向かう人と、残りはもと来た道を分岐まで引き返す。帰り道はきつかったが、何とか無事に登山口へ着くことができた。

広島支部の方々との交流を深められ、広島支部の「自分たちのことは自分たちでできるようにする」といったチームワークが刺激になった。耶馬は広島地区にはないらしく、「良い山だった、また来たい」と言っていただき、心からうれしく思った。

参加者：9人

北九州支部：CL榊俊一、SL三宅明子、
※関口興洋、丹下洽、丹下香代子

広島支部：池本喜浩、兼森志郎、斎陽、宮石惇、田村貴代子、朝尾博兼、朝尾洋子

※関口支部長は車のトラブルで熊野摩崖仏経由「風の里」へ直行、丹下会員は内藤会員をサポートして門司駅へ直行。

◎Ｂコース「津波戸山」(529.4㍍)

14916　　赤瀬　榮吉

●コースタイム：5時間2分
9:05登山開始～9:37旧海蔵寺跡～10:13西京の橋～11:29西岩尾根終り～11:38-12:10展望台(昼食)～12:15山頂～13:09夫婦杉～88番大師像～14:07駐車場に下山

横岳山荘を２台の車に分乗し津波戸山へ向かう。40分程で登山口駐車場に着き、当日参加の森会員が合流。準備体操を広島の落合さんに教わり、出発。小川に沿って上流へ向い15分程で津波戸山登山口、緩やかな登山道を進み旧海蔵寺跡、ここが八十八カ所ミニ霊場1番、あとは順番にしたがって拝して行き、けわしい西岩尾根ルートに入り３番、小さな石橋「西京の橋」を渡ると12番、針の耳(岩のすき間)、鎖場とアップダウンを数回くり返し直登コースの谷に出合う。谷を登り100㍍先が水月寺奥院で小休止。

岩から滲みでる水「硯石水」を一口飲みおいしかった。この谷を登りつめて尾根に達し左へ進むと由布岳、別府湾が眺められる展望台に着き、昼食タイムとした。

Bコース津波戸山山頂に到着しバンザイ(写真提供：小林英世)

ここから5分程で津波戸山頂に着くが、山頂は雑木林の中で、集合写真を撮り、足早に進み西展望台で眺望を楽しんだ。ここから往路を中腹まで戻り夫婦岩、大師立像を通り、夫婦杉から左へ東岩尾根コースに入る。岩上からの景色を楽しみながら66番から88番へと拝した。88番を終わって急斜面（クサリあり）の道を下ると往路に合わさる。30分程下ると登山口駐車場に着いた。津波戸山は低山であるが、奇岩怪石が林立、クサリ場などが多く登りがいのある山です。遠くから参加された広島支部の皆様からも大満足の言葉をいただいた。

クールダウン後、集合場所の山香温泉「風の里」で入浴後、解散となりました。

参加者：9人

北九州支部：ＣＬ赤瀬榮吉、SL森義雄、小林英世

広島支部：円石利恵子、近藤道明、落合和夫、木村和子、山内充人、眞田幸雄

◎Cコース「中山仙境周回と国東峯道トレイルK-1(一部短縮)」

15710　　町元里香

●コースタイム：6時間20分
8:30夷耶馬農村公園駐車場～9:05無明橋～高城～9:40隠洞穴～10:00下山口～10:30後野越登山口～11:00後野越～11:20西方寺の里～11:55阿弥陀堂～12:20大不動岩屋(昼食20分)～13:15尻付岩屋堂～13:45西の坊跡～14:50不動茶屋駐車場

午前7時に横岳荘を出発。終点予定の不動茶屋駐車場に車をデポし、夷耶馬農村公園駐車場に向かう。

午前8時30分に駐車場登山口から中山仙境の周回開始。登山道合流点から先は絶景の連続で、無明橋を恐る恐る渡り、振り返るとすばらしい景色が待っていた。

Ｃコース　中山仙境の高度感のある稜線を歩く
(写真提供：塚本久嘉)

最高点である高城からの360°見渡す限りの絶景を楽しんだ後、隠洞窟から下山口へ向かう。小休止を取り、今日のメインであるK-1コースを六所宮の東側にある後野越入口から出発する。後野越峠を越え西方寺の里へ下る。静かな田園風景が広がる集落で一息入れる。阿弥陀堂への鎖場を越え大不動岩屋へ向かう。岩屋からの圧巻の景色が待っていた。荒々しい岩峰を眺めながらの昼食は格別だった。

林道を下り尻付岩屋に到着。ここから暫く県道を歩き、西行戻しを経て旧千燈寺へ向かう。石造仁王像、奥の院、五輪塔群などの史跡を巡り、不動茶屋で休憩後、不動山に取付く。途中瀬戸内海を見つめて立つアントニー・ゴームリー像に立ち寄る。

さらに登ると山頂直下の山肌にへばりつくように建つ五辻不動が目の前に飛び込んできた。振り返ると姫島、遠くに見える瀬戸内の島々。今日最後の景色は素晴らし過ぎた。駐車場に下り解散。

今日1日の無事と自然の素晴らしさに感謝の気持ちでいっぱいになった。

参加者：8人

北九州支部：CL塚本久嘉、SL町元里香、馬場基介、竹本加代子、藤原玲子、太郎良嘉親

広島支部：後藤昭、坂原忍

11月3日(土)～4日(日)
宮崎ウェストン祭に18回参加
第34回祭典は記念すべき日

13541　髙畠　拓生

高千穂町五ケ所三秀台の高さ８㍍のウェストン碑の塔に国旗、英国旗、ＪＡＣ旗、高千穂町旗の次に、北九州支部旗も掲げられ青空になびく。式典は田原小学校の子供達による点鐘に始まり、黙祷、献花、高千穂町長、宮崎支部長挨拶、来賓祝辞、詩朗読、ウェストン祭の歌合唱、記念品贈呈、万歳三唱で閉会した。

祭典には、私は65才のとき第14回から85才になる今日まで21年間に18回三秀台に通い参加しました。（平成26年東九州支部創立50周年に出席、他に2回不参加）

実は祭典に出席して「祖母山」「ウォルターウェストン師」「祖母・傾国定公園」「ＪＡＣ第４代会長槙有恒と加藤数功」「昭和41年三秀台にてウェストン師石碑除幕式」等々と平成10年第14回祭典に参加して、田畑真一さんの講話を拝聴して文通により指導していただき今日に至りました。

第34回祭典を記念すべき日と思って居ます。（私の思い）　交流会では神事、神楽からキャンプファイヤーについては、新婚さん点火慣例が今回は、日本山岳会から人選とのことで、点火式には北九州支部の丹下様ご夫妻の金婚を記念して、ご夫妻が点火され天高く燃え上がる。

懇親会

交流会を終え4支部計59人(宮崎支部20人、東九州支部12人、熊本支部10人+子供2、北九州支部17人）宮崎支部ひょっとこ踊りで賑うもてなし。

交流会の点火式での丹下ご夫妻
（　　（写真提供：大内喜代子）

記念山行
親父岳1644㍍～障子岳1703㍍往復登山

コースタイム：６時間
四季見橋登山口8:30～「ピーク1526」10:00～親父岳10:52～障子岳11:35-12:13(昼食)～親父岳12:42～ピーク1526下13:25～下山14：25

このコースは第31回(H27.11.3)のウェストン祭で宮崎支部と一緒に登ったがその時は親父岳までであった。今回は、ザックの荷を軽くし登ることにした。

四季見橋の林道を北へしばらく進み親父岳登山口に入り樹林帯では紅葉も見られ60分程でピーク1526㍍の小さな岩峰で小休止。眺めの良い場所でした。

ここから120㍍ほど登りつめ午前11時前に親父岳に着く。このコースは初めてで登山用地図にもルート表示がなく新道か？　展望できるピーク1526もあり良いコースと感じた。

親父岳から先は高低差の小さい尾根を進み正午前に障子岳山頂に着き昼食とした。

山頂で展望を楽しみ往路を戻り午後2時半に無事下山した。参加者のみなさんお疲れ様でした。

（追記、祖母山への最短ルート北谷登山口から登る計画が道路整備中等により上記に変更されました）

天候に恵まれた障子岳山頂(写真提供：赤瀬榮吉)

ウェストン祭に初参加

北九516　　塩谷　夕子

この度は１番の新米で初参加させていただきました。北九州支部の先輩方に初めましてのごあいさつをし、宮崎支部、東九州支部、熊本支部の方々、そして現地の方々、小学生達と一緒にウォルターウェストンをしのびました。

交流会では神楽を堪能。すっかり冷え込んだ夜に、鶏肉の炭火焼きや３種のおこわなどの出店が並び体の芯から温まるかっぽ酒やジビエ入りのお汁椀がふるまわれました。

公民館に戻り交流会を楽しんだ後は明日の記念山行に備えて皆で寝袋を並べ、山道具を選ぶ楽しさ、それぞれの山歴の思い出話などを語り合いつつ眠りにつきました。

１番心に残ったことは、今年金婚式を迎えられた丹下夫妻おふたりが代表でウェストン祭式典の鐘を撞き、キャンプファイヤーの点灯をされ皆でお祝いし幸せな気持ちになりました。贅沢な時間を過ごさせていただきありがとうございました。

ウエストン祭参加者：17人
会員：園川陽造、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、三浦利夫、他記念山行参加者12人
記念山行参加者　12人
会員：CL赤瀬榮吉、SL竹本正幸、日向祥剛、山崎和子、高畠拓生、関口興洋、大内喜代子、竹本加代子、森本信子、縄手修、町元里香
支部友：塩谷夕子

●モンベル　グループ・サポートカード会員への切り替えのご案内

北九州市小倉北区にモンベル小倉店(井筒屋紫紅‘S〔しこうず〕)1階がオープンし、利用されている方も多いかと思います。

その特典会員であるモンベルクラブには、山岳団体等を支援するグループ・サポートカードというシステムがあります。年会費や個人へのポイント(継続年数に応じ、５～９％のポイント)は通常の個人会員と変わりませんが、別に日本山岳会北九州支部の団体カードに３％が加算されます。これまでの支部報で「ゴールドカード以上をお持ちの方は、自分へのポイントは５％に減る」とお伝えしておりましたが、誤りでした。お詫びして訂正致します。

既にモンベル会員の方はクラブ・サポートカードへの切換を、これからモンベルの特典を受けようと考えている方には、新規の申し込みをご案内致します。現会員の方がクラブ・サポートカードに切換る場合切換手数料300円〔税込〕がかかります。しかし、切換時に次期更新（現カードの有効期限は継承されます）をすれば、通常の年会費は先にかかりますが、切換手数料300円〔税込〕は不要となります。

（例）
現カード有効期限　2019.06
クラブ・サポートカードへの切換及び更新
2019.01
（通常年会費1,500円〔税込〕）更新後有効期限
2020.06
詳しくはモンベルの下記サイトをご確認下さい。
http://club.montbell.jp/aboutcard/group/
担当：三浦利夫（携帯090-2850-6020）

モンベルクラブ・サポートカードの見本

月例山行10月14日大船山(1786㍍)
初めての大船山と紅葉の御池

北九512　宇都宮　浩

紅葉真っ盛りの大船山御池で眺める
（写真提供：竹本正幸）

コースタイム：
今水駐車場8:00～黒岳登山口(今水)8:20～風穴・ガラン台分岐9:00～前セリ9:30～＜東尾根＞～御池11:25～大船山11:45(昼食30分)～史跡岡藩主中川家墓所(入山公墓)13:25～柳ケ水分岐14:00～風穴・ガラン台分岐14:28～黒岳登山口(今水)14:50～今水駐車場15:05

４月入会し、阿蘇登山に続いて２回目の山行です。

午前4時20分、小倉北区を町元リーダーの車で出発、小倉南区下曽根で縄手さんの車に乗り換る。5人で高速道を走行し、別府インターを出て、朝日を見ながら一般道を竹田方面へ走る。

集合場所のパルクラブに予定よりも早く午前７時に到着。先発組が駐車スペースの少ない今水登山口駐車場へ先に出発する。すでに午前7時30分で満車。駐車場より少し下ったところに駐車スペースを確保。雑誌「のぼろ」で紹介されてから登山者が多くなっているとのこと。この日の山行に先だち山行リーダー

他メンバーが今回を含めて3度の下見登山には感心しました。

山行は計画通り午前8時集合し、8時10分入山。

前に黒岳を見ながら山栗の木をみつけて栗を拾って初めて生で栗を食べて感動。さすがベテランの方ばかり。前セリ分岐の標識「風穴黒岳」を見て、大船山の方角を聞かれて東尾根コースはこっちですよと答えた。間違えやすいポイントでした。

東に見える前岳、黒岳、高塚山を見ながら下の紅葉はまだまだ。みなさんから今年の紅葉は台風の影響できれいではないよと聞いた。50分山行5分休憩のペースで登りやすいコースでしたが山頂手前が少し急登でした。私は初めての大船山で御池の対岸には大きな岩があって上の方は紅葉。御池に映る紅葉もきれいでした。よく本に出ている大船山はここなのだと感動しました。

山頂は紅葉見物の登山者100人ぐらいでいっぱい。法華院から登って来ている若い人が多かった。

天気は晴れ、由布岳、九重連山、阿蘇連山、祖母傾山もきれいに見えました。この方向からは初めて見る景色でした。

午前11時20分山頂でお昼ご飯を食べて午後零時15分に下山開始。下山ルートはリンドウや他の高山植物にすすきを鑑賞しながら岡藩主中川家墓所を見学し、午後3時前には今水登山口に計画通りの時間に下山。帰りに七里田温泉の有名な炭酸泉ラムネ温泉に入浴。午後4時解散し、北九州に向かう。午後8時無事帰宅しました。

参加者:10人
会員：CL町元里香、竹本正幸、竹本加代子、縄手修、小林英世
準会員：藤原玲子、太郎良嘉親
支部友：和田敦子、松本重裕、宇都宮浩

月例山行11月18日(日)裏英彦山
山に対する畏敬の念、登山者のあり方、モラルを考える機会に

北九　519　北崎　真紀

コースタイム：
青年の家8:40～北岳分岐9:50～ケルンの谷10:20/10:35～中岳＜昼食＞11:20/12:10～青年の家13

裏英彦山を経て中岳で記念撮影（写真提供：町元里香）

11月の山行は裏英彦山のコースで午前8時30分、青年の家の駐車場に集合。曇り空だが風もなく穏やかな気候の中、縄手CLを先頭に出発。徒歩にて豊前坊、登山口を経て薬師林道に入る。急な登り坂を歩き皆無事に午前9時50分頃北岳分岐にて一休止。

その後塚本SL先頭に英彦山の現状、自然、ブナの葉裏に葉脈があることなど教えていただいた。午前10時20分ケルンの谷に到着し休憩する。10時35分出発。岩など多い足場の不安定な登山道が続くがその後草原になる。南岳と中岳の鞍部通過し梵字入りの岩の横を通る。

午前11時20分中岳到着。昼食休憩に入る。その後他の登山者も増えだし、記念写真に協力していただく。午後零時10分中岳出発。2日前の雨で岩の苔が瑞々しく幻想的な雰囲気を醸し出している。スキー場の跡地のススキの草原の横を通りながら、英彦山青年の家に午後1時10分下山。

CL縄手さんから自宅に着くまでが山行と終了のあいさつで午後1時40分解散。

私自身山の経験は乏しいが今回の山行は山に対する畏敬の念、登山者のあり方、モラルなどじっくり考える機会になり、登山者の責任の自覚も必要だと感じました。皆様初心者の私に色々教えていただいてありがとうございました。

参加者：14人
会員：CL縄手修、榊俊一、大内喜代子、清家智恵、大谷恵美子、奥田スマ子、塚本久嘉、町元里香、花田拓二
準会員：藤原玲子　**支部友：**和田敦子、宇都宮浩、北崎真紀　**ビジター：**萩原直樹

9月9日(日）第2回指導員研修
15710　町元里香

リード壁でセルフレスキューの訓練
（写真提供：町元里香）

午前9時から午後3時まで、北九州市立玄海青年の家で実施。
クライミングボードを使用し、3分の1システムを使って負傷者を上部へ引き上げるライジングや宙吊りからの自己脱出などのセルフレスキュー研修を行った。

参加者：8人　講師：園川陽造
指導員：磯野文雄、縄手修、歳弘逸郎、奥田スマ子、三浦利夫、山中秀正、町元里香、松本重裕

11月11日(日）第3回山岳専科
地図、コンパス、道、ススキの平尾台
A0188　田中　清貴

11月11日、読図の山岳専科に参加しました。山岳会に準会員として入会し、初めての講習会への参加でしたが、当日はその不安や緊張を吹き飛ばすくらいの快晴でした。

公民館でミーティングをした後、１班5,6人の班にわかれ、茶ヶ床園地に移動し実地での読図の演習をしました。班ごとに指定されたルートを歩きながらコンパスを使って、整置したり分岐では目的地の方向を確認し、山を目印に現在地を確認しました。

秋の平尾台はススキがとてもきれいでしたが、コンパスに不慣れだった私は苦戦しながら、地図、道、コンパス、ススキとを見比べながらついていくのに必死でした。それでも班の方がひっそりと咲く花を見つけ、その花の話しをしながらの楽しい演習でした。

昼頃に自分たちのルートで一番高い四方台で偶然別の班と合流し一緒に昼食を取ることに。10人位の大所帯で昼食を取った後、残りの行程を進みました。ここまで来ると親切なご指導と反復練習の効果もあり、だいぶ読図もできるようになっていました。残りはサクサク進み約４時間の実地演習も無事終了。

この山岳専科で読図を楽しく学ぶことができ、とても有意義な一日でした。今回の山岳専科のために準備された皆様と同班の親切にご指導していただいた皆様、本当に有り難うございました。まだ知識や技術の浅い自分はこれからも多くのことを学んでいきたいと思いました。

公民館での読図座学　園川講師を囲んで
（写真提供：竹本正幸）

参加者：19人　講師：園川陽造
会員：CL三浦利夫、井上禮子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、赤瀬榮吉、森本信子、縄手修、歳弘逸郎、町元里香、田中貴大、三宅明子、**準会員：**田中清貴
支部友：網塚陽子、和田敦子、宇都宮浩、木戸理恵、北崎真紀、**ビジター：**萩原直樹

9月23日　平尾台広谷湿原観察説明会
高校生の熱意に心を動かされ『平尾台・広谷湿原』をラムサール条約へ登録

14264　丹下　洽

学園の職員・生徒と歩いた平尾台自然保護活動
（写真提供：丹下洽）

昨春、「平尾台・自然の郷」に平尾台の写真展を見に行った時、同会場で「平尾台・広谷湿原」をラムサール条約登録をというポスターが目に入った。猫の額のような広谷湿原をラムサール登録に・・・！！

説明を担当していた東筑紫学園理科部に声をかけてみたところ、実に熱心な解説をしていただいた。

あの狭い湿原がラムサール登録になる！！　ロマンと生徒達の熱意に心を動かされ、なにか支援が出来ないか？支部に持ち帰り検討してみようと思った。

当時「山の日記念・家族登山」を担当しており、これが終わり次第、支部役員会で検討を提案したところ、10月にラムサール条約登録実行委員会の発足会が山田緑地にて行われ支部有志と出席し、その結果を役員会に報告した。その後一度、学園の理科部の生徒等に会って見ようということで、ルームに足を運んでいただき、竹本事務局長同席のもと説明会を行った。

その結果、北九州支部として支援を行うこととなり、本部に許可の申請をお願いし、本部から「公益社団法人・日本山岳会」として後援を行うとの許可を頂いた。

その後、実行委員会との数回の打ち合わせの後、今年9月23日広谷湿原の観察説明会を行うことになった。

23日当日「茶ケ床」（小倉藩主・小笠原公が野点を行ったのが名の由来）午前９時集合、遊歩道を歩く。十月桜の近くに（三億年前に赤道付近のサンゴ礁が二億年前に北部九州に移動し、更に一億五千年前に起きたマグマの貫入により石灰岩が結晶質石灰岩＜大理石＞となり、他所のカルスト台地とは異なり白く曲線の美しいカルスト地形が出来、更に雨による浸食で現在の平尾台となった。それを物語る石灰岩にアプライト（マグマ）が貫入した岩がある。更に進むと「鬼の兵古干し」と称される帯状のマグマを見ることができる。足許に目をやると「ナンバンギセル」が咲いている。この花は寄生植物で「万葉集」には「想い草」として詠まれている。

「みちのべの　おばながもとの　おもいぐさ
いまさらになど　ものをおもわぬ」詠人不詳

“想い草の、頭をかしげた風にみえるのを恋に悩む女性の姿になぞらえたのではないか・・・“

途中、学園の高校生による解説を受けながら広谷へ。学術的説明は割愛します。（資料はルームの図書参照）青龍窟へ入る予定でしたが、先月の台風で林道が崩壊しているため、救急車が入る事ができないので、「立入禁止」との苅田町より通達があり、「鬼の唐手岩」で昼食です。鬼の唐手岩はマグマの固まりで最大のマグマは貫山です。食後は広谷湿原の水が落ちている「ひじり滝」へ。

広谷湿原の成因が学術的に認められ2016年、環境省により国の重要湿地に登録され、もとより平尾台は国の天然記念物です。

コースを変え、季節を変え、平尾台を広く歩いてみてはいかがでしょうか。

東筑紫高校・理科部の生徒も頑張っています。私たちも自然保護の一環として協力・支援を行いましょう。参加者の皆さんも有意義だった。平尾台にこんな所があり、広谷湿原の重要性が理解できた。特に高校生の熱心で真剣な説明に感動したとの賛辞をいただきました。又，学園よりも、沢山の質問をいただき、熱心に話を聞いていただき、手ごたえのあった説明会だったと感想をいただきました。

ポレポレの山行は、9月27日「秋吉台の最高峰・龍護峰」、10月18日は「青龍窟」（現在は白山多賀神社）、更に平尾台の特異性・重要性を認識できるでしょう。

※行事に参加して下さった一般の方々、学園の高校生、理科部の顧問・水島先生、佐々木事務局長・学園の職員の方々、そして北九州支部の関係者の皆様にお礼申し上げます。

参加者：14人
会員：関口興洋、馬場基介、原広美、丹下洽、丹下香代子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森本信子、縄田正芳、池田智彦、奥田スマ子、三宅明子　**ビジター：**木戸恵理

個人山行　10月8日

伊能忠敬が測量した200年前の足跡をたどる
支部から15人，講演とウオークに参加

13499　　伊藤　久次郎

御用の旗をかかげて出発の前の支部のグループ
（写真提供：伊藤久次郎）

伊能忠敬とは誰ぞや？

「最近の若いもんは、伊能忠敬が何者なのか知らない人が多い、悲しいことだ」と言われないように、先ずは彼について簡単に説明しておきましょう。彼は、日本最初の実測地図を作成した人です。実は私もよく知らないので、世界山岳百科事典などから紹介します。

（別枠）

伊能忠敬（いのう・ただたか）1745～1821

上総国小関村(現在の千葉県九十九里町)に生まれ、17歳で下総国佐原の酒造家伊能家に婿入り。算数、測量、天文などに興味を持ち、50歳で本格的に測量技術などを学ぶ。55歳のとき、幕府の命を受けて日本全国の測量にあたり、1800年の第1次(主に北海道南部)から16年の第10次(江戸)に実施。全国の大図、中図、小図を作製して幕府に献じた。

1821年(文政4)完成した「大日本沿海輿地(よち)全図」は、最近までわが国地図の基準をなした。

伊能忠敬は、九州測量のうち文化10年10月10日に田川市郡の測量を行っています。

それで田川郷土研究会では毎年この10月10日前後の休日を利用して、伊能忠敬の足跡をたどるウオーキングを実施しています。私も第3回から参加していますが、昨年の第4回から北九州支部14人が参加しました。今年の第5回目は、15人が参加し、当日(平成30年10月8日)午前9時半、田川市伊田駅前の風治八幡宮に集合。10時からミニ講演「伊能忠敬と鉄砲坂」を拝聴して、昼食（伊能弁当500円）を済ませ正午から約4.5キロのウォーキングに出発しました。

参加者は140人余りで、ミニ講演会場は満員で廊下に座り込んで聞く人もいました。参加者をＡＢＣの３班に分け「御用」の文字が書かれた「のぼり旗」を立てて出発。こののぼり旗は、実際に伊能忠敬が測量の時に掲げていたものです。

コースは、伊能忠敬の測量日記によると10月10日の6時頃(嘉穂郡)大隈を出発し、猪膝町を経て(田川市)後藤寺で昼休み、3時頃香春に到着しています。

出発地の風治八幡宮には、神功皇后が石に腰掛けて祈願したという「御腰掛け石」がありました。石は、畳1枚位の広さがある立派なもので、皇后さまのお尻もさぞ大きかったのではと思われました。

途中で班長がマイクで説明しながら進み、鉄砲町という地名の交差点にかかりました。文政4(1821)年の伊能図には鉄砲町が描かれており、鉄砲鍛冶が２軒あったそうです。また伊能忠敬が通ったと思われる道は、現在では人が通らないヤブだったり、石畳があったり、またお地蔵様があったりで、かすかにその痕跡が感じられました。

午後３時ごろ終点の一本松駅に到着し解散となりましたが、我々15人のうち11人はＪＲで伊田駅まで引き返し、近くの居酒屋で伊能忠敬を偲び、反省会をして帰宅の途に就きました。

参加者：15人
会員：関口興洋、日向祥剛、伊藤久次郎、高畠拓生、丹下洽、丹下香代子、大内喜代子、縄手修、奥田スマ子
支部友：伊藤トモエ、立石シマ子、宇都宮美智子、宇都宮富和、平賀裕之
ビジター：藤田貴和子

個人山行　10月13日(土)
久住山地形調査興味をひいた見出し「ブラタモリ的」

北九517　木戸　恵理

久住山の地形調査に参加したメンバー(写真提供：竹本正幸)

コースタイム：
牧ノ戸登山口8:53～沓掛山9:27/9:35～久住山＜昼食＞11:52/12:33～沓掛山14:05/14:13～牧ノ戸登山口14:37

「ブラタモリ的」という見出しはとても興味ひいた。そして、久住山には16年前に一度登って以来の私には尚更、魅力的なお誘いでした。
早朝より自宅を出発し、車を降りた時は寒さを覚悟していたが、思いのほか風も強くなく秋晴れに恵まれた。10月半ばとあって紅葉はまだ色づき始めたばかりだったが、人気のくじゅうは老若男女問わずたくさんの登山者で溢れかえっていた。
予定よりも早い午前８時45分に牧ノ戸登山口を出発。ジオツーリストマップにしたがって、久住山頂を含む12カ所で横山先生より地形のお話をしていただいた。景色を堪能しながらの登山もよいが、目の前の山の形状やむき出ている岩・窪地がどのようにできたかなど、説明を聞きながらの山行は一層楽しいものであった。何万年、何千年前の噴火の溶岩や溶岩ドームが今のくじゅうを成していると思うと、自然の偉大さや時の流れを感じ感慨深い気持ちになった。
正午に山頂で昼食をとり、復習をしながら午後2時40分に無事下山。教えていただいたことが頭に半分でも残っていればいいなと思いつつ、次にくじゅうへ来る時は知識をひけらかしたいとも思いながら帰路についた。たくさんのお話をしていただいた横山先生、ご一緒させていただいた皆様には大変お世話になりました。おかげでとても楽しい充実した山行になり、有り難うございました。

参加者：14人
会員：CL横山秀司，磯野文雄、榊俊一、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、縄田正芳、塚本久嘉
支部友：縄田恵美子、星出清美、木戸恵理
ビジター：一鬼利男、山崎綱雄、近藤和広

5月25日～26日　第35回全国支部懇談会のご案内
主管：日本山岳会栃木支部

※参加資格：日本山岳会会員・準会員
期日：2019年5月25日(土)～26日(日)
懇談会会場：栃木県奥日光　光徳温泉
「日光アストリアホテル」(TEL0288-55-0585)
参加費用：20,000円（1泊2食懇親会・二次会、26日昼弁当、ペットボトル1本付き、バス移動費用、博物館見学料、消費税、入湯料含む）
申し込み：支部単位で1月末まで、栃木支部に申し込み。北九州支部会員は1月15日までに事務局に申し込んでください。

●行程
1日目（5/25）
集合場所は日光自然博物館
12：00　受付
13：00　開会・講演会
16：30　日光アストリアホテルに移動
18：30　夕食懇親会
2日目（5/26）
8：00　交流登山(希望により3班に分かれて行動)
※詳細は、北九州支部事務局にお問い合わせください

同好会活動　ポレポレ会
（ポレポレとはスワヒリ語で「ゆっくり」を意味することば）

9月27日(木)
ススキたなびく秋吉台を散策
北九508　宇都宮　美智子

ススキの道を歩いて登った龍護峰山頂
（写真提供：伊藤久次郎）

コースタイム：
駐車場(秋吉台家族村)10:15～西の西山(398㍍)
11:18～龍護峰(425.5㍍)＜昼食＞12:35/13:15～
駐車場14:40～弁天池散策

参加者　：16人
会員：CL原広美、伊藤久次郎、井上禮子、
高畠拓生、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、
池田智彦、縄田正芳　**準会員**：藤原玲子
支部友：伊藤トモエ、立石シマ子、松本重裕、
宇都宮美智子、里耕三郎　**ビジター**：竹中信枝

龍護峰登山口は駐車場より出て、すぐ横の木立の入口にあります。薄暗い木々の繁る登山道を20分も進むと目の前がパッと明るくなり秋吉台の草原が見えます。まだ出始めのススキの穂が若々しい。秋吉台カルスト台地特有の岩が現れ、ＳＬの丹下さんより平尾台との違いの説明を受けます。秋吉台はザラザラとして尖り、灰白、平尾台は真白でスベスベ。なるほど納得。

西の西山まではゆるやかな登り、秋の山野草が目につく。サイヨウシャジン、オミナエシ、ヒヨドリソウなど.。帆柱山そっくり！アンテナも並んでいる。思わず、あれ帆柱山と大声で言ってしまって失笑をかいます。秋吉台からは見渡せるはずもなく西鳳便山(にしほうべんざん)だと教えていただく。

西の西山で写真タイム。

360度の視界があり西鳳便山の奥の方向に花尾山も見えた。龍護峰へは少し下山して登りになったがカルスト台地を渡る風は心地よく汗もあまりかかなかった。龍護峰で昼食。台地になっていて展望も素晴らしく朝が早かったのでお腹も空いて30分の休憩もあっという間。下山は反対方向の家族旅行村へ。駐車場の近くに大きなトチの木があり、実がたくさん落ちていた。秋晴れの中ススキや山野草を愛で心休まる一日を過ごさせていただき有り難うございました。

10月18日(木)　山伏の里
「等覚寺(とかくじ)」を歩く
ビジター　北崎 真紀

歴史をふりかえり語りながら歩いた山伏の里
（写真提供：伊藤久次郎）

10月のポレポレは、苅田町の等覚寺(豊前六ケ寺)でした。私も初めての参加でとても楽しみにしていました。

午前9時、苅田町の西部公民館に集合し、山伏古道を経て白山多賀神社で小休憩し、お参りさせていただきました。等覚寺の松会(まつえ)の山伏信仰に思いを馳せ、伝統行事に理解を深める大切さを学びました。その後、天空カフェまで登り美しい棚田やソバ、フジバカマの花を愛でながら、アサギマダラが５頭から６頭舞う姿に見ほれながら皆シャッターを切っていました。その後、食事処で美味しいランチをいただきました。下山後、内尾薬師で参拝し、楠で彫られた2.7㍍の仏像に畏敬の念を感じながら、住職の奥様のご説明もあり、一同歴史に思いを馳せたひと時でした。

午後3時10分殿川ダム駐車場で解散。地域の歴史に学べる意義ある山行となりました。
皆さま、初めて参加した私にいろいろ教えていただいて有り難うございました。

参加者：11人
会員：CL井上禮子、伊藤久次郎、丹下洽、
丹下香代子、奥田スマ子、中畑智子
支部友：伊藤トモエ、立石シマ子、
宇都宮美智子、里耕三郎　**ビジター**：北崎真紀

11月22日(木)
競秀峰・古羅漢・羅漢寺
スリルと歴史を満喫！

北九513　星出　清美

スリルと歴史の重みを感じながら歩いた三峰
（写真提供：伊藤久次郎）

山国川を見下ろす断崖絶壁の際を通り抜ける競秀峰、天然橋や鎖場をもった奇岩峰の古羅漢、日本三大百羅漢の一つの羅漢寺、いずれも耶馬溪を代表する名峰である三峰に挑んだ。昨日の雨で決して足元は良くないので慎重に歩を進める。

滑る参道はいずれも気を抜くことが出来ない険しい危険な道ばかりであった。しかし、どの峰も参道の途中から絶景、山頂にたどり着いた者でしか味わうことのできない、奇岩群の絶景は水墨画を見るような素晴らしい晩秋の景色ばかり。

そして、長い間修行僧の登った参道には石仏、石像地蔵や磨崖仏、優しいお顔の石像観音菩薩などが祀られている。一つ一つの表情には歴史と神秘に包まれ、羅漢寺の岩屋の五百羅漢などは圧倒されてしまった。

今回、素晴らしい山登り経験を持つ仲間のみなさんとなかなか登ることのないスリルと歴史の三峰を満喫でき「山は、最高！」と再度実感できました。

参加者：20人
会員：CL井上禮子、原広美、伊藤久次郎、高畠拓生、丹下洽、大内喜代子、大谷恵美子、縄田正芳、奥田スマ子、塚本久嘉、花田拓二
準会員：藤原玲子　**支部友**：伊藤トモエ、立石シマ子、堤庸子、縄田恵美子、星出清美、里耕三郎、北崎真紀　**ビジター**：米澤眞智子

◇◇ポレポレ会のご案内◇◇

野の花を愛で、史跡をめぐり、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当：丹下洽

今年は、山を歩きながら花の鑑賞、歴史を探索しました。（参加者：157人）

2019年も参加者全員で楽しみながら歩く計画を行います。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

2019年の計画

- 1月17日(木) 白滝山：氷瀑　【下関市豊北町】
- 2月28日(木) 高山：笠山の椿　【山口県萩市】
- 3月28日(木) 尾の岳：高森田楽【阿蘇市/日田市】
- 4月21日(日)　等覚寺：松会　【福岡県苅田町】

◆集合時間や行程についての問い合せ先
丹下洽（携帯090-3732-8843）

◆◆　お知らせ　◆◆

伊藤久次郎”山の木版画展”開催
及び版画を始めて2年目の弟子たち展も同時開催

とき　2019年5月21日(火)～26日(日)
ところ　田川市美術館　（福岡県田川市新町）
※　詳細は次号に掲載します

支部ボランティア活動報告

14852　竹本　正幸

◎10月25日
行橋市立延永小学校
英彦山登山のサポート

多くの生徒をサポートしながら英彦山に登る

（写真提供：竹本正幸）

10月25日(木)～26日(金)行橋市立延永小学校は、5年生を対象に宿泊研修を英彦山青年の家にて実施した。

１日目の英彦山登山研修サポートの要請があり、支部長とも相談の結果、公益事業として承諾することが決まる。

●10月25日(木)午前10時青年の家出発

・コース　登り，青年の家～バードコース～歩荷コース～正面コース～中岳(昼食)，下り　中岳～正面コース～花駅～バス～青年の家

・小学5年生2クラスで、57人を3班に分かれて行動する。

・先生5人、北九州支部4人(竹本正幸、竹本加代子、縄手修、町元里香)

・後日、小学生57人の感想文が届きました。

◎11月1日　登山委託
（福岡家庭裁判所小倉支部の補導委託）

昨年から計画してきた家裁からの委託少年を山に連れて行く奉仕活動(登山委託)の第1回が11月1日(木)風師山で行われた。

当支部が委託を受け、サポートを行った。

家裁が選んだ少年に登山を経験させることにより、更生意欲等の喚起を期待しての取り組みである。

気持ち良い汗をかき、山頂に登った達成感、安全登山のための様々な知識の習得と実感、草木を始め自然とのふれあい、親子の交流を通しての親子の再生、参加者同士の交流などを期待しての取り組みである。

午前9時30分「子供の森公園」に集合。当日につけた仮の名による自己紹介、家裁からの説明と当支部からの登山の注意事項、そしてストレッチをして午前10時に出発。

矢筈山との分岐では、ネイチャーゲームをする。珍しい物、美しい物をチームで探して披露する。どれが良いか拍手で決めた。

風頭頂上では、全員で俳句を一句ずつ詠み、みんなに披露し、素晴らしい句に拍手を送った。それぞれの感性の素晴らしさに驚く。好天の中、眺望を楽しみながら昼食をとる。ハチクマは先週くらいで終わったそうで、数羽の鳶が上空高く舞っている。小林会員のたてるコーヒーを味わい、至福のひとときを過ごす。

午後零時50分下山開始、ビニール袋を片手にゴミを拾いながら下る。途中の分岐点にて二人一組で、一人がタオルで目隠し、もう一人が誘導して草木等身近なものに触ってみる。

午後2時公園の休憩所に到着、クールダウンの後、休憩所にたまっていた落ち葉を片付け、テーブル、その他の拭き掃除をして、気持ちのいい場所で少年と当支部会員が感想文を書き、その後ミーティングを行い解散した。気持ちのよい一日だった。

参加者：16人
当支部：7人　関口興洋、竹本正幸、赤瀬榮吉、竹本加代子、縄手修、池田智彦、町元里香
少年：2人　家族：1人
裁判所職員：6人（小林英世会員を含む）

ご協力ください！！
英彦山山頂トイレ掃除の支部当番

平成31年1月から平成31年3月までの計画予定

英彦山山頂トイレの清掃日は以下の予定です。会員皆様のご参加協力をお願いします。

1/3(木)・2/13(水)・3/27(水)
＊２０１９年４月以降は未定です。

※参加できる方は、3週間前に自然保護担当奥田スマ子(携帯：080-8589-0903)までお申し込みください。
当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、山頂トイレへ向かいます。

◇◇月例山行のご案内◇◇

行事・山行時の申し込み方法の改正

参加者の申し込み漏れを防ぐため、今後の申し込み方法については、下記のとおりとします。

①参加希望者は、申込先の担当者へ、原則携帯電話のショートメールかパソコンメールで希望を送信する。

②できない場合は、直接担当者の携帯電話に連絡する。

2月の山行

●三郡縦走

リーダー：三宅明子
期日：2月24日(日)
集合：篠栗駅　午前5時40分
行程：竈門神社～宝満山～仏頂山～三郡山～前砥石山～砥石山～鬼岩谷～ショウケ越え～若杉山～米の山展望所　　コースタイム：約8時間
申込み：三宅明子(携帯090-1510-1311、
　　メールakkorose.27@gmail.com)
　　※ショートメール不可
締め切り：2月3日(日)
その他：往路の篠栗駅から竈門神社までは公共交通機関、復路の米の山展望所から篠栗駅まではタクシーを利用します。(費用：2,000円程度)

●第４回指導員研修(平成30年度)

講師：園川陽造
期日：2月9日(土)～2月11日(月)
場所：伯耆大山
交通手段：公共交通機関(夜行バス)
行程：雪山研修
申込み：申込みは終了
担当：町元里香(090-9572-6939)

●第４回山岳専科

講師：園川陽造（技術指導委員長）
リーダー：三浦利夫
テーマ：レスキューその他
期日：2月17日（日）
集合：皿倉山ケーブルカー山麓駅駐車場
時間：午前8時30分集合
　　（ビジターセンターまで徒歩で移動予定）
携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食
申込み：三浦利夫（携帯090-2850-6020）
締切り：1月27日（日）

3月の山行

●三高山小屋で観梅会

日時：3月2日(土)～3日(日)
集合：三高山小屋に午後3時集合
　　（集合後に買い出しに行きます）
宿泊：三高山小屋（シュラフが必要です）
装備：シュラフ、ヘッドランプ、お椀、コップ、箸等
申込み：三宅明子(携帯090-1510-1311、
　　メールakkorose.27@gmail.com)
　　※ショートメール不可
締め切り：2月18日(月)

●福寿草鑑賞登山

リーダー：塚本久嘉
山名：やくし山～マロン岩峰(熊本県)
日時：3月23日(土)
集合：九州自動車道山江ＳＡ　午前8時40分
　人吉インター出口ファミリーマート午前９時10分
行程：長やぶ谷登山口～やくし山～マロン岩峰のピストン　　コースタイム：約６時間
装備：通常の登山装備
申込み：塚本久嘉(携帯090-7475-6084)
締め切り：3月2日(土)

●熊本の秘境

リーダー：塚本久嘉
山名：山犬切～七辺巡り
日時：3月24日(日)
集合：相良温泉「茶湯里」午前8時
工程：石楠越登山口～山犬切～七辺巡りのピストン
　　（時間の余裕があれば北山犬切まで行きます）
コースタイム：約５時間
　　（北山犬切まで行けば約７時間）
装備：通常の登山装備
申込み：塚本久嘉(携帯090-7475-6084)
締め切り：3月2日(土)

●第２回代替山岳専科

※7月8日豪雨で中止した第2回の代替開催
講師：園川陽造（技術指導委員長）
リーダー：三浦利夫
テーマ：山岳気象その他
1、期日：3月10日（日）
　※前回支部報案内より日程修正
2、集合：皿倉山ケーブルカー山麓駅駐車場
3、時間：午前8時30分集合
　　（ビジターセンターまで徒歩で移動予定）

4、携行品：通常登山装備一式・筆記具・昼食
5、申込み：三浦利夫（携帯090-2850-6020）
6、締め切り：2月17日（日）

4月の山行

●九州オルレ（宗像・大島コース）

リーダー：赤瀬榮吉
期　日：4月７日(日)
集　合：神湊渡船ターミナル
時　間：午前９時10分集合（2便9：25発乗船）
行　程：宗像・大島コース周遊(最高峰御嶽山224㍍)
【距離11.4㌔所用時間：約4.5時間】
帰り：大島発5便午後2時40予定（6便16：20）
＊船賃：片道560円
申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748)
締め切り：3月17日（日）
＊ＪＲ東郷駅(宗像大社口)バス8:26分→神湊(約20分)
＊神湊に駐車場有300円（12時間まで）

●2019年度　第1回指導員研修

講師：園川陽造
日時：4月14日(日)
場所：北九州市立玄海青年の家（予定）
時間：午前9時～午後3時
携行品：一般山行装備及びクライミング装備、
筆記用具、昼食
申込み：町元里香（携帯090-9572-6939）
締め切り：3月13日(水)
※2019年度新規指導員を募集します

２０１９年度バスハイク企画

①上高地～涸沢（絶景、涸沢の雪景色）

リーダー：塚本久嘉
期日：2019年4月28日(日)～5月3日(金)
行程：4月28日　午後6時40分発
新門司フェリー(阪九フェリー)
4月29日　泉大津～上高地～横尾(横尾山荘泊)
4月30日　横尾山荘～涸沢(涸沢小屋泊)涸沢
到着後雪上訓練
5月1日　涸沢(午後下山)～横尾(横尾山荘泊)
5月2日　横尾～上高地～
泉大津フェリー(阪九フェリー)
5月3日　新門司午前７時着
集合：博多駅、小倉駅、門司駅を予定
定員：20人
装備：アイゼンや防寒着等の冬山装備が必要です。
費用：7万円前後(連休期間中は交通機関の割引がないので割高になります)
締め切り：2月10日(日)
問い合わせ・申し込み先：塚本久嘉(090-7475-6084)
キャンセル料：締め切り後のキャンセルは理由にかかわらずキャンセル料が発生します。
※募集人員が一定の人数に達しない場合は中止します。

②伊吹山・白山（花観賞登山）

リーダー：塚本久嘉
期日：2019年8月2日(金)～6日(火)
行程：8月2日　午後6時40分
新門司フェリー(阪九フェリー)
8月3日　泉大津～白山(別当出会～勘之介小屋～黒ボコ岩～室堂泊)
8月4日（早朝オプションで御前峰）
室堂～別当出会～伊吹山へ移動（宿は未定）
8月5日　伊吹山～泉大津フェリー
8月6日　新門司午前7時着
集合：博多駅、小倉駅、門司駅を予定
定員：20人
費用：約5万2,000円
締め切り：5月10日(金)
問い合わせ・申し込み先：
塚本久嘉(携帯090-7475-6084)

（注意事項）
●キャンセル料：締め切り後のキャンセルは理由にかかわらずキャンセル料が発生します。
●募集人員が、一定の人数に達しない場合は中止します。

（参考：バスハイクのキャンセル料）
◎募集締め切りから催行３週間前までは、代わりの参加者がいる場合5,000円、いない場合は20,000円徴収
◎3週間前から1週間前までは20,000円徴収
◎１週間前からは宿がキャンセル出来ない時はプラス宿泊費

会　務　報　告

●平成30年11月定例役員会議事録

日時：11月7日(水)18時00分～20時20分
場　所：当支部ルーム(毎日会館 1F)
出席者：関口興洋、日向祥剛、竹本正幸、丹下洽、丹下喜代子、榊俊一、大内喜代子、縄田正芳、縄手修、森義雄、奥田スマ子、塚本久嘉、小林英世、馬場基介、池田智彦、清家幸三
（略称及び役職名を省きます）

議題

1　会員の異動状況　(9月5日～)榊俊一より報告
(1)新入会員
・通常会員：なし、準会員：A188田中 清貴
・支部友：①北九518竹中　信枝
　　②北九519北﨑　真紀
(2)退会者
・通常会員：なし
・支部友：①北九424安田　秀世、②北九460堀江俊明、③北九500切間　光徳
(3)通常会員：71人・準会員：4人・支部友：45人・会友：4人　　合計：124人
2　会費納付状況　縄田正芳より報告
未納者：通常会員：5人、支部友：3人
未納者に対してはこれから催促を行う
3　山行・行事報告…(各担当者)より
・9月9日(日)指導員研修8人(竹本正幸)
・9月20日～23日 南アルプス(甲斐駒ケ岳、仙丈ケ岳)7人中止(清家幸三)
・9月23日(日)平尾台広谷湿原観察会14人(丹下洽)
・9月29日～30日(日)三倉岳9人　台風のため中止(小林英世)
・10月8日(祝)伊能忠敬ウォーキング15人(丹下洽)
本件は個別要素があり、支部行事から除外する
・10月13日(土)久住山地形調査山行14人(竹本正幸)
・10月14日(日)大船山(東尾根)10人(竹本正幸)
・10月21日(日)槇有恒碑前祭33人…本件は審議事項の中で話し合う。
・10月25日(木)行橋市立延永小学校英彦山登山サポー　ト4人(小学生57人)(竹本正幸)
・10月27日(土)～28日(日) 広島支部との交流会(小林英世)
Ａコース：田原山12人・Ｂコース：津波戸10人・Ｃコース：ロングコース9人
参加者：北九州支部：16人、広島支部：16人
・11月１日(木)家庭裁判所登山サポート７人(小林英世)
・11月3日(土)～4日(日)宮崎ウエストン祭17人(竹本正幸)
4　山行・行事計画
・11月11日(日)山岳専科(平尾台・地図読み)19人予定
・11月18日(日)裏英彦山・紅葉登山　縄手修が担当。　15人参加予定。
・12月1日(土)～2日(日)年次晩餐会(石割山)9人
当日は槇有恒記念祭の展示パネルの設置
ビデオの上映を会場にて実施する(竹本正幸)
・12月8日(土)忘年の集い(門司倶楽部)現時点では15名。(榊俊一)
若い人（正会員以外）を主に参加を呼びかける
会費の徴収仕方を今後に活用する
・12月16日(日)犬ケ岳(30年干支の山)6人参加予定(大内喜代子)
・1月6日(日)新春登山・猪群山　(担当：藤原玲子)
・1月20日(日)第3回指導員研修(竹本正幸)
5　ポレポレ会(丹下洽)
・ 9月27日(木)龍護峰16人
・10月18日(木)等覚寺(豊前六ケ寺)11人
・11月22日(木)競秀峰(紅葉狩り)23人
・1月17日(木)白滝山(氷瀑)
6　各委員会報告
①山行委員会(塚本久嘉)来年度の行事については決まっているが担当分けは近日実施。
役員以外もから決めていきたい。
②交流委員会(小林英世)広島との交流はこれからも実施する。
③財務委員会(縄田正芳)寄付金を含め28年29年度そして今年度の収支内容を報告。

審議事項

1　夏山フェスタ反省会報告…会場が狭い。内容は良かった。
2　支部合同会議の報告(9月29日～30日)関口興洋
今年の山研での事故を反省に今後の登山計画の重要性について山研運営委員会の資料を配布。特に登山計画書の中で分かる人に連絡を取れることを徹底する。
3　槇有恒碑前祭の反省と今後
・講師の招待が急に決まることは今後回避する。
・会費の徴収の仕方を検討する。
(別、当日の会計報告書あり)
・例年行事として進める。
4　年次晩餐会出展について(槇有恒碑前祭)
5　2019年の全国支部懇
栃木支部5月25日(土)～26日(日)
2020年の全国支部懇
宮崎支部5月16日(土)～17日(日)

6　指導員研修、山岳専科の今後について…会員以外の参加費を徴収していく。
7　31年度月例山行(骨子)と行事について（塚本久嘉）
8　他支部の支部報がメールで届いています。
　会員、または役員（どの範囲に）に転送。
　現状はメールのある役員へ配布する。
　会員には総会時に聞く。
9　来年度の役員改選について
・退任される方は、代わりができる人を探して交代を図る。
10　留守本部について
・留守本部は役員に頼む。
11　支部ホームページについて(塚本久嘉)
・年間費用を10000円程で進めていく。
　若い人の勧誘にはホームページ立ち上げが必須アイテムになるので作成を実施する。
・作成費用面については本部の助成金の申請を進めていく。
12　支部報発行について(森義雄)…
　1月7日に発行予定。
13　モンベル・グループ会員カードについて（進捗状態)…三浦利夫が担当。
　個人のポイントは変わらず、北九州支部へ還元できるシステムなので進めていく。
14　支部旗の作成中、来年度予算とし、日向副支部長が担当で見積もりを取る。
・寸法は80ｃｍ×50ｃｍ。
15　12月サロンについて…12月は忘年の集いがあり1月に変更する。

※次回定例役員会　平成31年1月9日(水)予定

●平成30年12月臨時役員会議事録

日時：平成30年12月8日(水)午後4時10分より4時40　　分(忘年の集い開始前)
場所：門司倶楽部
出席者：関口興洋、丹下洽、榊俊一、丹下香代子、竹本正幸、大内喜代子、縄田正芳、縄手修、奥田スマ子、塚本久嘉、清家幸三、馬場基介

審議事項

1　第20回通常総会の日程
　4月21日(日)総会は午後4時～
（ポレポレ参加者はその後、総会に合流する）
　詳細については今後検討する。
　選択肢として「コール天」もいれる。
2　英彦山清掃登山の日程
　5月12日(日)例年より１ヶ月遅くなる。
3　年次晩餐会出展報告(関口支部長)
4　登山教室指導者養成講習会(本部主催)
　2月16日~17日長野県「安藤百福センター」
　締切り：１月31日
5　2019年度「特別事業補助金」募集
　トイレ清掃、清掃登山は対象にならないか。
　必要経費が少ないので難しいのでは？
　その他検討してみる。
6　長期宿泊山行の計画書提出は、３ケ月前から２カ月前に変更する。
支部報への計画掲示、募集締め切り、参加人員が決まってから計画書を作成して提出するので日程的に無理がある。

【九州シカ広域一斉捕獲のお知らせ】

一斉捕獲日：3月17日(日)、3月24日(日)
春季一斉捕獲が行われます。捕獲期間は3/17～24、対象区域がありますので、詳しくは九州森林管理局までお尋ねください。
問い合わせ先：九州森林管理局保全課
（TEL：096-328-3542）

・★★★会員の異動★★★・

■新入会員（平成30年9月～10月）
1　Ａ０188　田中　清貴　山口市嘉川　30才
　H30.9.19 入会
2　北九517　木戸　恵理　下関市秋根南町
　36才　H30.9.5入会
3　北九518　竹中　信枝　下関市山の口町
　73才　H30.10.3入会
4　北九519　北﨑　真紀　築上郡吉富町今吉
　45才　H30.10.3入会

■退会者（平成30年9月～10月）
1　北九500　切間　三徳　若松区東二島68才
　H30.9.30
2　北九424　安田　秀世　戸畑区天神72才
　H30.10.23
3　北九460　堀江　俊明　小倉南区沼緑町66才
　H30.10.23

会員数(11月末現在)
124名（通常会員71人　準会員4人
　支部友45人　会友4人）

ルーム便り（9月～12月）

利用日：

〇９月
9月12日(水)版画同好会(6人)
9月12日(水)資料(家庭裁判所提出のため)(1人)
9月19日(水)版画同好会(7人)
9月30日(日)支部報発送準備(1人)
〇10月
10月1日(月)支部報発送(4人)
10月3日(水)版画教室(6人)
10月3日(水)碑前祭打ち合わせ(11人)
10月4日(木)サロン(8人)
10月17日(水)版画教室(7人)
10月20日(土)碑前祭準備(2人)
10月31日(水)版画教室(7人)
〇11月
11月7日(水)定例役員会(12人)
11月14日(水)版画教室(5人)
11月14日(水)山行委員会(10人)
11月26日(月)ポレポレ山行打ち合わせ(6人)
〇12月
12月3日(月)支部忘年の集い企画書作成(１人)
12月6日(木)支部報原稿作成(1人)
12月7日(金)忘年の集い(2人)
12月12日(水)版画教室(6人)

◆支部のルームは、通常会員、準会員、支部友であればご利用できます。利用を希望する会員は事務局までお問い合せください。

サロンのお知らせ

小倉 サロン

申込み：清家幸三　（携帯：090-8664-4411）

【開催月が変更となります】
開催日は支部役員会が奇数月に行われていますので、会員の情報交換の場として、偶数月の第１木曜日に開催します。

日時：平成31年2月7日（木）
午後5時から6時まで、ルームにてビデオ鑑賞…「できるテント泊術」
午後6時～8時　懇親会
ビデオ鑑賞後の感想&個人山行等の情報交換
予算1,000円以内

博多 サロン

日時：2月14日（木）午後6時30分から
場所：丸海屋博多駅築紫口店　☎092-432-4455
会費：3,500円（食べ飲み放題）
申込み：赤瀬榮吉（携帯090-7475-9748）
締切り：2月7日（木）

居酒屋「コール天」

●場所：小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
TEL:093-522-0565
ＪＲ鹿児島本線 小倉駅南口から
※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています